

担当教員授業題目	生物科学野外実習 (静岡大学)				担当教員	徳岡 徹	
英文授業名	Exercise in Field Biology				副担当教員		
単位数	1	講義期間	前期	曜日・時限	集中	対象学年	3
授業形態	実習	備考	計5日(理学部天城フィールドセミナーハウス4泊)				
<p>(1) 授業のねらい</p> <p>野外での様々な植物種や植物群落の特徴を理解する。 (キーワード: 富士山、伊豆半島、照葉樹林、亜高山帯、高山植物、ブナ林、海岸植物)</p> <p>(2) 授業の概要</p> <p>静岡大学周辺には海岸から高山まで様々な環境が存在し、それに応じて様々な植物種や植物群落が存在している。この実習では、できるだけ多くの植物に触れ、その多様な形態や生態を観察し、植物と環境の関係をより深く理解することを目的としている。フィールドは主として富士山と伊豆半島天城山を対象とする。実習施設として理学部附属の天城湯ヶ島フィールドセミナーハウスを利用し、採取・標本の作成を行う。</p> <p>(3) 授業計画</p> <p>7月中旬にガイダンスを行い、野外での実習は9月中旬に行う。野外では以下の場所で植生や植物相の観察、植物採集、標本の作製を行う。</p> <p>1. 富士山の山地林(スギ・ヒノキ林、照葉樹林)</p>				<p>(授業計画の続き)</p> <p>2. 富士山の夏緑林(ブナ林、カエデ林)</p> <p>3. 富士山の亜高山帯林(シラビソ林、コメツガ林)</p> <p>4. 富士山の高山植物群落</p> <p>5. 天城山の照葉樹林</p> <p>6. 天城山のブナ林</p> <p>7. 伊豆半島の温暖帯林</p> <p>8. 伊豆半島の海岸植生(ビャクシン林)</p> <p>9. 沼津の千本松原</p> <p>(4) 成績評価の方法</p> <p>実習終了後のレポートで評価する。</p> <p>(5) 履修上の注意</p> <p>植物系統分類学、生態学などの授業を受けていることが望ましい。</p> <p>(6) 質問、相談への対応</p> <p>事前・事後の質問・相談は電子メールで受け付ける。 アドレス ; tokuoka.toru@shizuoka.ac.jp (徳岡)</p>			